

## 第 18 回思川開発事業生態系保全委員会 議事要旨

日 時：平成 30 年 3 月 22 日（木） 13:30～15:20

場 所：栃木県立宇都宮産業展示館（マロニエプラザ）大会議室

出席者：三島次郎委員長、酒井豊三郎委員、櫻井正美委員、杉田勇治委員、高橋滋委員、  
宮崎淳一委員、柳澤紀夫委員（敬称略、委員五十音順）

議 事：

### 1. 動植物への影響予測の更新

事務局より、レッドリスト改訂に伴う新規種への影響予測について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・イソシギの生息状況及び生息環境が南摩地区にどの程度あるのかを確認しておくこと。

### 2. 希少魚類の保全対策

事務局より、ホトケドジョウの移殖計画案、カジカの移殖計画案、ジュズカケハゼについて説明し、了解された。

### 3. モニタリング調査

#### (1) 環境調査等の現状と今後

事務局より、環境調査等の現状と今後について説明し、了解された。

#### (2) オオタカ

事務局より、オオタカのモニタリング結果、営巣中心域内での工事等に対する保全対策の実施状況、追加間伐の実施報告、平成 30 年モニタリング計画について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・実施した保全対策については、実施内容を具体的に示し、それにより推定される効果をオオタカの警戒行動の有無などから判断し記載すべきである。
- ・間伐は、オオタカの繁殖への影響を考慮し、11 月頃に実施すること。

#### (3) ムカシヤンマ

事務局より、ムカシヤンマのモニタリング結果と平成 30 年モニタリング計画について説明し、了解された。了解に際し、以下のコメントがあった。

- ・調査の精度が年により変わらないよう注意が必要である。
- ・D 地点については、地中温度、水温、水流および土質の変化を注視すること。

#### (4) 希少植物

事務局より、希少植物のモニタリング結果、カザグルマ移植の実施報告、平成 30 年モニタリング計画、オオヒキヨモギ活着の取組計画について説明し、了解された。

#### (5) 環境保全地

事務局より、環境保全地のモニタリング結果、平成 30 年モニタリング計画、コリド

一の設置について説明し、了解された。

(6) クマタカ

事務局より、クマタカのモニタリング結果と平成 30 年モニタリング計画について説明し、了解された。

以 上